

Title	中谷先生を偲ぶ
Author(s)	石川, 常雄
Citation	経済論叢 (1982), 130(3-4): 243-243
Issue Date	1982-09
URL	http://dx.doi.org/10.14989/133941
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

經濟論叢

第130卷 第3・4号

哀 辭

故 中谷 實名誉教授遺影および略歴

設備投資決定のプロセスと基準 (1)……………浅 沼 萬 里 1

イギリス鉄鋼業新設工場における

労使交渉の展開……………菊 池 光 造 28

ナショナル金銭登録機会社における

予算システムの形成……………斎 藤 雅 通 54

ナチ雇用創出政策と再軍備問題……………後 藤 俊 明 75

現代フランスにおける農地の流動化と

その地域的展開……………石 月 義 訓 95

追 憶 文

中谷 實先生を偲ぶ……………岩 根 達 雄 115

中谷 先生を偲ぶ……………石 川 常 雄 123

経済学会記事

昭和57年9・10月

京都大學經濟學會

中谷先生を偲ぶ

石川 常雄

中谷先生、先生御夫妻をお迎えして、喜寿の御祝いをにぎにぎしくいたしましたのは、丁度、昨年のお頃でございました。それから僅か一年、散り急ぐ花を追われるかのように、長い旅にお立ちになってしまわれ、今日このような形で再びゼミナール卒業生一同、参集いたしましょうとは思ってもみませんでした。まことに痛こんの極みでございます。

あまりに急のご訃報にまだ先生の懐かしい思い出など思いおこす余裕もございませんが先生には四十有余年にわたってゼミナール学生のご教育をお続けになり、ご薫陶をうけたゼミ生四百数十名に達しております。慈父という名がぴったりの本当におだやかなお人柄でいらっしゃる先生は、教室での学生に対する真摯なご教導はもとより、キャンパスのそとにおきまして、お正月、新学期、卒業と季節ごとのコンパ、夏のゼミ旅行、信州に木曾に長良川に、しばしば奥様とともども、人間味あふれる人生そのもののご指導を仰ぎえた次第でございます。その高遠なご学殖には遠くおよぶうところではありませんが、一端を思い起こしますと、戦前すでに「預金通貨の研究」「新金融理論」の二名著が上梓され、戦後、昭和三十七年博士論文であります「通貨供給の理論」となって集大成されたのでございました。論争を好まれない和やかなお人柄ではございましたが、磨きあげられたご自説のご主張はまことに力強く、他説にはご寛容ではいらっしやいましたが、「さあ」と小首をかしげられますと、これは絶対に反対とのご意志表示であると拝察しなければなりませんでした。

金融学会におきましてその草分け的存在としてご尽力なさいましたのはもとより、私ども弟子——といえる資格もないかと存じますが——のご薫育に、時には秋霜のような厳しいご叱正をいただいたものでございました。まだまだ新しい後輩のご指導を仰ぎたかったのに、もはやそれもかないませぬのはまことに痛こんの極みです。どうか先生安らかにお休み下さい。いや、ときには私どもの夢枕にお立ちいただいて、今後もご叱正をお願いしたい気持でいっぱいでございます。